

CFサービス「晴れ！フレ！岡山」プロジェクト達成100件突破

成功率90% 高水準

インターネットを使い夢の実現を応援する地域密着型クラウドファンディング(CF)サービス「晴れ！フレ！岡山(晴れフレ)」は11月、支援を募り成功したプロジェクトが100件を突破した。山陽新聞社と中国銀行、CF運営大手READYFOR(レディーフォー、東京)が連携し2019年7月にスタートさせて以降、利用申し込みは絶えず、成功率は90%に迫る好成績を収めている。(白村正純)

山陽新聞社は17日、インターネットサイト「晴れ！フレ！岡山 STORY 百人百様の物語」を公開した。2019年を募ったプロジェクト実行者が利用体験や実現してきた事業を語るほか、利用する上での参考情報も掲載している。

サイトの一部を紹介すると、鳥田舞介さん(26)＝倉敷市児島唐琴町＝は、児島特産のデニム製品をPRするユニークな宿泊施設を地元でオープンし、利用が堅調な様子伝える。アプリカ西部・セネガルから輸入した服を販売する田貫明子さん(32)＝岡山県矢掛町＝は、現地の生産体制を充実させた後、作り手と買い手の関係づくりに努めていると報告する。

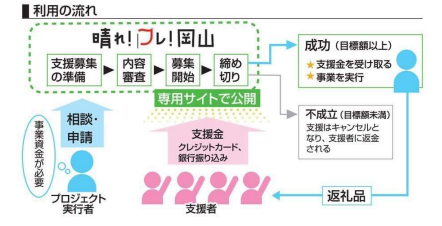
利用者が体験語る

山陽新聞社 参考情報も掲載

撃した木下サカス(岡山市北区表町)は、運営維持に向け全国から寄せられた3076万円の支援に対し感謝をつづる。

「お役立ちヒント」のコーナーでは、支援を募る場合のポイントとして「労力の8割を準備に充てよう」「友人・知人への声掛けは大事」とアドバイス。全成功プロジェクトを、実行者名や支援額と共にリストに載せている。

サイト「STORY」は今後、利用体験を増やし内容を充実させる。また、ビジネスや地域づくりなどの関係者も加わる「コミュニティ」に発展させ、岡山エリアのさらなる活性化につなげる。アクセスはQRコードから。



晴れ！フレ！岡山 主な成功プロジェクト (成功件数: 100)

- 「晴れ！フレ！岡山」スタート(7月)**
 - デニムホテルを児島に開業 (鳥田舞介、1124万4000円) **【晴れフレ成功例】**
 - 絵本「世界一やさしいレストラン」出版 (岡山県内の医師らによる実行委員会、133万2000円)
 - 井原デニムのカジュアルジーンズ開発 (榊上晋司、43万5600円)
 - 真備に遊離拠点兼住宅を (伊田由起子、331万6000円)
- 新型コロナウイルス関連に支援続々**
 - 星空保護区認定目指し環境整備 (美星町観光協会、592万2000円)
 - 吉岡の地元店舗を応援【コロナ関連】 (井原市などの実行委員会、7278万2000円＝晴れフレでの支援最高額)
 - 収入減のサーカス団に支援を【コロナ関連】 (木下サカス、3076万円)
 - 一般公開継続に力貸す【コロナ関連】 (大原美術館、2348万円)
- 市民ランナーの実力養成をサポート** (大瀧屋女子陸上競技部、123万1000円)

多彩な内容、大きな共感

- 有楽に農業交流空間をオープン (石橋千良、155万7000円)
- 老朽化したドクターカーを更新 (心臓病センター神原病院、2594万1030円)
- 赤磐産フドウを除菌ティッシュの原料に (戸田洋美、125万4000円)
- 倉敷で病氣と闘う弟の自叙伝を発刊 (土山哲義、577万7000円)
- 引退デザイナーが乗る自叙伝の再生 (水島海海鉄道、2366万5000円)

11月、成功件数が累計100を突破

地元企業運営強み

晴れフレがスタートして以降、11月末までに募集を終えたプロジェクトは119で、このうち成立したのは104。成功率は87.4%と、国内のCF業界で最高水準とされる75%を上回り、支援額の累計は3億円を超えた。

プロジェクト内容は、起業やイベント開催、新商品販売など多岐にわたる。新型コロナウィルスの感染が拡大してからは、売り上げが落ちた事業者が運営資金を確保するケースも目立つようになった。「こうした傾向は当面続くだろう」と中村教授は指摘する。



水島臨海鉄道 水島線引退車再生 目標超え2300万円集まる

旧国鉄用として造られた車両は昭和40年代に引退した。そのうち1台、水島線に引退させ、再生した。再生費用は2300万円を目標としていたが、2021年12月17日時点で2366万5000円を集めた。

水島臨海鉄道は、水島線の引退車両を再生し、観光列車として運行する計画を進めている。再生費用は2300万円を目標としていたが、2021年12月17日時点で2366万5000円を集めた。

地魚の味子どもたちに

岡山山南高、商業クラブ。若者が地魚の味を子どもたちに伝える活動。目標達成あり NEXT GOAL

岡山山南高、商業クラブ。若者が地魚の味を子どもたちに伝える活動。目標達成あり NEXT GOAL

若者の挑戦後押し 晴れフレは、若者のチャレンジを学びも後押し

岡山山南高、商業クラブ。若者が地魚の味を子どもたちに伝える活動。目標達成あり NEXT GOAL

岡山山南高、商業クラブ。若者が地魚の味を子どもたちに伝える活動。目標達成あり NEXT GOAL

起業の寺坂さん(津山) 介護タクシー 古里疾走

古里の津山市で高齢者・障害者向けの介護タクシー事業を今春起業した寺坂英成さん(29)。「同じ介護士が、人権を大切にしたい」という思いから、介護タクシーを始めた。支援の輪を広げたいと、晴れフレの活用も目指している。

晴れ！フレ！岡山 お問い合わせ

晴れフレ特設ページは、募集中を含むプロジェクトを公開している。アクセスはQRコードから。利用の問い合わせは山陽新聞社内の事務局(086-803-8184)。

国内総額501億円 20年購入型支援

クラウドファンディング(CF)は、群衆を意味する「クラウド」と資金調達の意味する「ファンディング」を合わせた造語。人や企業などがプロジェクト実行者となり、インターネットサイトを通じ支援を呼び掛け、お金を集める。支援金のお礼として実行者から物品やサービスを得る「購入型」と見返りのない「寄付型」、配当などを授け取る「金融型」に大別される。このうち、一般になじみがあるのは購入型。日本クラウドファンディング協会(東京)が国内での購入型の支援総額を調べたところ、20年は501億円と、前年(169億円)の約3倍となった。